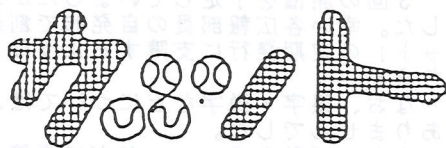




Since.5.1972



東村山市市民テニスクラブ協議会機関紙

コート取り当番担当クラブ

3月	4月分のコート	美住B
4月	5月分のコート	恩多B
5月	6月分のコート	青葉B

発行責任者 柳 利夫

住所 東村山市萩山町5-6
-26 301号

編集責任者 黒岩 俊雄
☎ 0423 (95) 4336

東村山市市民テニスクラブ協議会
平成3年度総会
〔第18回〕 <特集号>

総会次第

1. 開会あいさつ 太田名誉会長
2. 議長選出 今井・鶴丸氏選出
3. 議事
 - (1) 平成2年度活動報告
 - イ. 一般報告 柳 会長
 - ロ. 技術部報告 武谷 部長
 - ハ. 広報部報告 黒岩 部長
 - ニ. 事務局報告 谷古宇事務局長
 - (2) 平成2年度決算報告 河嶋 財政部長
平成2年度監査報告 中根 会計監事
 - (3) 平成3年度活動計画 (案)
 - イ. 技術部 武谷 部長
 - ロ. 広報部 黒岩 部長
 - ハ. 事務局 谷古宇事務局長
 - (4) 平成3年度予算 (案) 河嶋 財政部長
 - (5) 平成3年度役員選出
 - (6) その他



1. 開会あいさつ 太田名誉会長
太田名誉会長は、当日が大変風の強い日でもあり健康上から今回は、出席をご辞退いただきました。
2. 議長選出 今井・鶴丸氏選出
谷古宇事務局長より、美住クラブ今井さん・本町クラブ鶴丸さんの両氏にお願いして、議事進行をしていただきました。
3. 議事
 - (1) 平成2年度活動報告

イ. 一般報告	柳 会長
---------	------

太田名誉会長の最近の御様子、また総会も18回を数えることになって、東村山市市民テニスクラブ協議会として、市の体育協会の中にあっても重要な役割を担うまでになって来ていることは、一重に会員各位の御努力の賜物と感謝申し上げたい。
今年には柏崎の方々をお迎えする番なので硬庭連の行事とはいえ皆様方のご協力をよろしくお願い致します。
天候のせいとはいえ出席者が少ないことは大変残念です。

ロ. 技術部報告	武谷 部長
----------	-------

1. 定期練習
 - (1) 平成2年は、初心者・初級者・中級者の3クラスで定期練習を行った。
 - (2) 前半・後半ともレッスン回数は次の通りである。
 - ① 初心者クラス: 1年間を通じて 23回 JSS3回を含む
 - ② 初級者クラス: 1月~10月末日まで23回
 - ③ 中級者クラス: 11月以降 6回
 - (3) レッソンの出席者数(平均)は次の通りである。
 - ① 初心者クラス前半 10名(初期登録者数34名)

- ② 初心者クラス後半 10名(初期登録者数24名)
- ③ 初級者クラス前半 10名(初期登録者数31名)
- ④ 初級者クラス後半 10名(初期登録者数21名)
- ⑤ 中級者クラス前後半共10名(初期登録者なし)
- (4) レッスン内容
 - ① 初心者・初級者クラスとも年間計画を作り、毎月の目標をもうけた。(初心者は基本ストロークを中心に、初級者はフットワークを組み入れた練習内容、ウォーミングアップ・クーリングダウン)
 - ② 中級者は、6回に分けてストローク別レッスンを行った。
- (5) 指導体制
 - ① 前半・後半に技術部員を割り振り、各々に責任者をもつけ、集団指導体制を基本とした。
 - ② 出席表を作り、毎回出席を点検した。
- (6) 春秋市民大会期間中のコートの確保
 - ① 春秋で5回JSSのコート3面3時間を計画し、3回実行した。(9月9日, 15日, 23日)
 - ② 参加者数は次の通りである。
9/9[37(25)名], 9/15[21(8)名], 9/23[30(17)名]
 - ③ 初心者・初級者のレッスンをを行った。
2. ボール管理
 - ① ニューボールを137ダース(ラケットショップフジ)とセットボール28ダース(硬庭連)購入した。
 - ② 平成3年にニューボール66ヶ, その他使用ボール多数を引き継いだ。
 - ③ ニューボールは使用状況に応じて補充した。
3. 部内大会
 - ① 12月16日(日)に4クラブ対抗総当たりの親睦戦を行った。
 - ② 試合と平行してオデンのサービスを行った。(次ページ)

第28回・市民春季体育大会
硬式庭球大会日程決定

種目	日時	記事
男子ダブルス (B)	4月 7日 (日)	久米川コート 午前 8:00集合
女子ダブルス (A) (B)	4月14日 (日)	
壮年ダブルス		
男子ダブルス (A)	4月21日 (日)	
混合ダブルス	4月28日 (日)	
◎参加費 1組 1,500円 (連盟加入者=市民テ=1,200円)		
◎申込み受付 3月3日(日), 10日(日) 午前10:00~12:00 スポーツセンター(クラブ室=2F)		
※. 主催 東村山市体育協会 ※. 後援 東村山市教育委員会		

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 ☆ 今月のフジショップ ☆
 ☆ による用具指導日は、久米川コートにて ☆
 ☆ 3月17日10時より ☆
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

4. 外部指導者によるレッスン

①3月31日、4月1日の硬庭連主催による中級者対象の森スクール(日本テニス協会広報部長、東村山市硬庭連副会長)に19名の会員が参加した。

②7/7日8日の「市民テ」主催による中級者対象の本井スクール(日本テニス協会選手強化本部)に25名の会員が参加した。

5. ジュニア

①年間を通じて日曜・祝日2面で43回レッスンを行った。

②出席者は、平均12名(登録者22名)であった。

③スクール内容は、前年度に準じた。

④ジュニア大会を1回催した。

* * 以上の活動の評価を以下記す。* *

1. 定期練習

<良かったこと>

①年間計画と月別目標を作り予定通り実行出来た。

②節目では、指導者の指導についての打合せを行い、意志の疎通がはかれた。

③毎回必ず出席をとり遅刻等を少なくすることが出来た。(時間厳守)

④各コート共二人以上の技術部員を配置することが出来た。

⑤これまでの経験から、春秋の大会後に出席者が極端に減るのを防ぐために、生徒に直接出席を呼び掛けた。

⑥大会期間中3回JSSコートで定期練習を行い、大会期間中の練習の空白を少しは減らすことが出来た。

<反省すべきこと>

①前半と後半の引継ぎが充分でなかった。

②練習ノートを作ったが、活動が充分でなかった。

③技術部員の練習会(研修会)が持てなかった。

④クラス分け、班分けが生徒数の確定に時間がかかり、連絡網の整備等が遅れた。

⑤技術部員全員の分担による指導体制をとったが、結果的には、指導に当たる技術部員に偏りが生じた。

⑥特にジュニアの場合、春秋の市民大会後に出席率が落ちてしまった。

2. ボールの管理

ボールの購入や管理が、計画的に行われ一年間を通じてボールを安定供給することが出来た。

3. 部内大会

①単に試合だけで交流するのではなく、オデン等のサービスを通じて親睦を深めることが出来た。

②オデン等のサービスに当たって多くの方の協力を得ることが出来、交流の輪をちょっぴり広げることが出来た。

4. 外部指導者によるレッスン

①新しい練習パターンや、自己の技術向上を一流の指導者から学べる良い機会であった。

②両スクールとも、予定した人数が集まらず個人負担が増えた。

③室内コートは、球足が速いことや見にくいなどの不満があった。

5. ジュニア

①予定した練習を、ほぼ消化することができた。

②試合を練習の一環に加えることによって、生徒を活気づかせることが出来た。

③春秋大会後の出席が極端に低下したことに對して、電話等の連絡はしたが十分な効果を上げられなかった。

ハ. 広報部

市民テの広報として、『ガット』を各会員の御家庭に配付しはじめて3年になりました。ようやく発行に当たっての要領あるいはベースがつかめてきたといえると思います。

定期掲載記事について

①運営委員会報告

毎月の運営委員会報告は、当クラブの民主的な運営状況を会員の方々にお知らせする最も大切な記事ですが、もれなく掲載出来ました。

②私とテニス

毎月掲載することが出来るようになってきましたが、まだ全月というわけにはいきませんでした。

不定期掲載記事・行事記事について

①春・秋の市民大会の予定及び結果の報告

②「総会特別号」/3月1日号

③会員の久米川コート、恩多コート外での活動や感想文など。

広報部会の開催について

3回の開催を予定していましたが、2回しか開くことが出来ませんでした。幸い各広報部員の自発的で創造的な努力により(献身的な)「ガット」の定期発行に支障するようなことにならず、良かったと思っております。

なお、誤字・脱字などについては、今年もご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

また、「私とテニス」などに原稿をお寄せ下さいました会員の方々にはあらためてお礼を申し上げたいと思います。

最後に、今年の「ガット」の定期発行にご尽力いただきました広報部

担当月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
氏名	美住	美住	美住	恩多	美住	恩多	木町	青葉	恩多	木町	青葉	恩多
名前	黒岩	田中	勝村	岡林	斎藤	新沼	光井	工藤	古村	藤田	林	青木

ニ. 事務局報告

1. 運営委員会について

市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に会合を持ちました。委員の出席率向上と、委員が委員会開催日でも、貴重な休日を有効利用出来るよう委員会開催時間を工夫しました。

2. コート取りについて

コート取りの重要性を新会員に認識してもらうため、コート取りマニュアルを作成し、入会説明会において配付するとともに、コート取りの重要性とコート取り手順を詳しく説明しました。

3. 5分間ミーティングについて

運営委員会の内容を会員に知ってもらうとともに、会員の意見を聞くために、毎月第3日曜日午前10時30分から5分間コートにおいて会合を持ちました。

4. テニス保険について

平成2年度の保険利用状況 8件(内未決2件)
(用具5件+障害3件) 保険金受取額 179,940円
払込保険料 約 48万円

平成3年度も昨年同様の保険に加入致しました。

期間・平成3年1月1日~平成4年1月1日午後4時まで(341名)

会社・東京海上火災保険(株)

払込保険料 463,690円(340人×1,360円+1,290円)

保険内容 第3者賠償 : 5,000万円

身体障害 : 200万円

用品・用具 : 5万円

5. 新会員の募集について

平成3年度の新会員の募集は、昨年新会員(128人)を大幅に増やしたので、会員数の現状維持を目標とし、募集人数に制限(50人程度)を設けました。

<新会員の加入状況>

S62年	S63年	H元年	H2年	H3年
54人	48人	66人	128人	54人

6. 「忘年会」=納会

本町クラブ担当で楽しい1年の締めくくりが出来ました。

実施日 : 平成2年12月2日(日) : 参加者 81名

平成2年度決算報告 河嶋財政部長

(1990年1月1日~1990年12月31日)

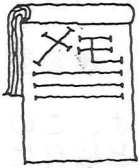
	1990年度予算	1990年度決算	備 考
収入の部			
前期繰り越し	1,739,518	1,739,518	
年会費	4,060,800	4,077,600	後期会員(家族)4名×4,200 追加 計372名
雑収入	39,682	72,398	定期、普通利息 10年誌本代(1,000×14冊)
収入合計	5,840,000	5,889,516	+49,516
支出の部			
コート代	1,300,000	1,100,230	市営コート1,016,800 JSSコート(3千円/面×3面×3冊)×3回=83,430
ボール代	520,000	528,942	D・F(New,Set1,982ヶ/年)New66ヶ練習ボール240ヶ繰越
団体加盟費	20,000	18,000	市硬庭連(恩、美5千円) 本、青(4千円)
会議費	100,000	48,400	運営委員会、各部会
保険料	478,720	478,720	01,360円×352名(一般、家族、家J)
技術向上費	400,000	335,178	森教室(5,3万円)、本井教室(18万円)、イベントほか
親睦費	150,000	150,000	忘年会10万円(本町主催) 柏崎参加補助金5万円(5名)
事務局費	200,000	199,087	会員名簿(7万円)、名札(5,4万円)、事務諸経費ほか
渉外費	45,000	45,000	市硬庭連役員活動補助金 7名
広報費	450,000	417,495	ガット印刷費、郵送費
各クラブ運営費	498,000	498,000	各クラブ補助金(一般、家族 01,500円×332名)
20周年記念積立金	150,000	150,000	別途積立
予備費	100,000	45,000	甲慰金
(実質支出)	4,411,720	4,014,052	+397,668
次期繰越金	1,428,280	1,875,464	+447,184
支出合計	5,840,000	5,889,516	

差引残高 1,875,464円は、1991年度へ繰越となります。
20周年記念事業積立金(1988年度~)の累計は、406,782円となりました。
一般定期を満期後(H2,12,12)128万円のS.MCに切替えました。

平成2年度監査報告 中根会計監事

1990年度会計監査報告

1990年度決算報告に対しまして、会計監査の結果、収支、帳簿等に相違無いことを認めます。



1991年2月17日
会計監事 中根 一夫



高瀬 欣也



平成3年度活動計画 (案)

1. 技術部活動報告 武谷 部長

1. 定期練習

(1) 今年は、初心者・初級者のみ年間を通じてレッスンを行う。練習予定日は下記の通りである。

- ①第1期：1月13, 20, 27、2月3, 10, 17, 20, 24、3月3, 10, 17, 24, 31日(12回)
- ②第2期：6月9, 16, 23, 30、7月7, 14, 21, 28、8月4, 11, 18, 25日(12回)
- ③第3期：10月20, 27、11月3, 17, 24、12月1, 8, 15, 22日(9回)

(2) レッスン内容の概要

- ①第1期：初心者..... グランドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュの基本
初級者..... グランドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュの動きの中での練習(フットワーク、ポジショニング etc.....)
- ②第2期以降は、第1期の進捗状況を見て検討する。

(3) 指導体制

集団指導体制で行う。

2. 指導体制
「役割分担指導体制」とする。

- 技術部 部長 : 武谷
- 技術部 副部長 : 藤岡・浅見
- スクール責任者(前半) : 藤岡・坂井
- 「」(後半) : 浅見・山本
- ボール担当責任者 : 木村・田中
- 企画担当責任者 : 今井・松井
- ジュニア担当責任者 : 黒岩

3. ボール管理

昨年に準ずる。

4. 部内大会

- (1) 年1回部内大会を行う。
- (2) その他のイベントを検討する。

5. 外部指導者によるレッスン

- (1) 「市民テ」主催として、中級者を対象に1回を予定する。
- (2) 「硬庭連」主催の指導者講習会に参加する。
- (3) 技術部員を対象にしたレッスンを検討する。

6. ジュニア

- (1) 日曜・祝日の9時から10時半まで2面を使用して行う。
- (2) ジュニア大会を1回は催す。また、適宜試合方法を導入する。
- (3) 春秋の大会後の出席を良くする。

ロ. 広報部 黒岩 部長

市民テの会員が、楽しくテニスができるように、テニスコートでの出来事や運営の中身を、可能な限り正確に一人ひとりの会員にまで伝えるようにする。

郵送での配付対象者は、一般会員・単独ジュニア・休部会員(一般会員)となります。

1. 毎月の「ガット」の配付について

- 不定期記事
運営委員会の開催内容・用具指導

○ 不定期記事

トピックス等は、~~雑誌~~を~~掲載~~を検討する。各クラブの動き・会員の動静・行事記事など、春・秋の大会の内容やコートでの出来事。

○ 連載記事

「~~雑誌~~」これらの内容を盛り込んだ「ガット」を毎月の第1土曜日までに届けるよう努力致します。

2. 広報部会の開催について (経験を交流)

広報部員の交流を深め、余裕をもって「ガット」の作成が出来るようにするため。(内容の充実)

○ 編集用具の整備充実

斬新なカット集やレイアウト用具(定規類)等を整備・充実するとともに、「~~雑誌~~」を機能性に富んだ「~~雑誌~~」タイプにします。

○ 予算内訳

発行部数	280部	
イ. 印刷費(色刷り1回程度含む)	170,000円	
ロ. 郵送費	195,000円	
ハ. 封筒費	26,000円	
ニ. 広報部費	59,000円	
	450,000円	

ハ. 事務局計画 谷古宇事務局長

1. 基本方針

イ. 運営委員会は毎月第2日曜日に会合を持ち、市民テの円滑な運営のためにアイデアを出し合う。

ロ. 市営テニスコートの確保を確実にを行うと共に、市営テニスコート以外の民間コートも積極的に利用し、コート不足を少しでも補う。

2. コートの環境整備について

コートの補修等環境整備に努力し、行政に対して働きかける。

3. 各クラブの会員数均等化の検討について

昨年恩多クラブと東住クラブが統合し、会員数のクラブ間格差は幾分縮小しましたが、現在でも最大クラブと

最小クラブの間の格差は、倍以上あり、この格差は今後さらに広がるのが考えられます。

この事が原因による運営上の諸問題(役員・行事参加クラブ運営費)も再発しています。運営上の諸問題の解決と再発防止のために、各クラブの会員数を均等化し、均等化し続ける方策を検討したい。

4. 繰越金について

(1) 繰越金額について

繰越金は、市民テの安定した活動を一年間維持するため、60万円は残す必要があると判断し、現在ある繰越金(1,875,464円)は、その残高が60万円に達するまで毎年計画的に消化する。

(2) 余剰繰越金の使途について

余剰繰越金は、現在のコート不足を多少なりとも補い会員により多くテニスを楽しんでもらう目的のため使って行きたい。

- 例えば ①春秋の市民大会時における民間コート借用日数の増
- ②スクール開催時のコート不足を補うため民間コートの借用
- ③各クラブ単位の練習会増
- ④早朝練習用コート確保期間の延長(4月~11月→3月~11月)等が考えられます。

平成3年度予算(案) 河嶋財政部長

(1991年1月1日~1991年12月31日)

	予 算	備 考
収入の部		
前期繰り越し	1,875,464	
年会費	3,820,800	(359名) 1991年度前期会員数及び収入表を参照
雑収入	23,736	定期(途中解約)、普通利息、10年誌(1,000×8冊)
収入合計	5,720,000	
支出の部		
コート代	1,300,000	市営コート使用料 110万円 民間コート借用料(特別練習会) 20万円
ボール代	550,000	ダンロップフォート(New, Set 約2,050ヶ/年)
団体加盟費	17,000	市硬庭連(恩、本、青4千円 美5千円)
会議費	100,000	運営委員会、各部会

保険料	463,999	1,360円×340名+1,290円(一般、家族、家J)振込料309
技術向上費	400,000	外部特別講習会、イベントほか
親睦費	130,000	忘年会10万円(青葉主催) 柏崎親睦補助金 3万円
事務局費	200,000	会員名簿、事務諸経費ほか
渉外費	40,000	市硬庭連への派遣役員活動援助金 6名
広報費	450,000	ガット印刷費、郵送費
各クラブ運営費	495,000	各クラブ援助金(一般、家族 01,500円 × 330名)
各クラブ補助金	160,000	1クラブ4万円 × 4クラブの補助
20周年記念積立金	200,000	60万円 + 利息(1988年度~)
予備費	100,000	
(実質支出)	4,605,999	
次期繰越金	1,114,001	
支出合計	5,720,000	

S・MCC(128万円)を途中解約する可能性があります。

1991年2月17日

各クラブ運営費(一般、家族 1,500円 × 330名 495,000円)の内訳

恩多クラブ	1,500円 × 88名	132,000円
本町クラブ	1,500円 × 75名	112,500円
青葉クラブ	1,500円 × 54名	81,000円
美住クラブ	1,500円 × 113名	169,500円



活動報告の主な質疑応答

- Q 技術部の反省すべき点⑤については、役割分担がされている。技術部全員が参加していなくても反省すべき点として上げなくても良いと思うが。
- Q 中級者クラスの時、運営委員会等で技術部員がいなくて困る。
- Q 技術部員の中には、ボランティア精神のはき違えと思われる発言もあった。
- Q 部長と副部長で補佐出来る体制を作っておくべき。
- Q 指導者講習会等では、スポーツセンターでなく久米川コートでやって貰えないか。
- Q 忘年会の10万円の用途はどうなっているのか。
- A 基本的には、技術部員の方が何らかの役割を全員で分担し、特定の人に負担が掛かりすぎないように配慮するとの観点からです。
- A 技術部員として運営委員会にも参加されている人の場合は(指導者がいなくなるような場合)玉出しの方を優先させたい。
- A 依頼する講師が、貴重な方であり兩等で流すのは勿体ないので、スポーツセンターで計画している。又、久米川コートを2面使用すると他の方の練習にも差し支える。
- A 毎年の忘年会は、主催していただく担当クラブに総費用の一部として交付しており、領収証はいただきませんが細かな内訳の提出は求めていません。
- A ボランティア精神の点については、対価を含めて検討したい(立川のあるクラブでは、3,000円/半日と聞いているが、月2回位の昼食代くらいは良いのでは?との声あり)

活動計画の主な質疑応答

- Q 余剰金(=繰越金)の使い道には、事務局提案は反映されているのか。
- Q 早朝は、市民テで年間を通し確保したらどうか。
- Q 技術部員の偏りは、今年も出てしまう計画になっているのでその旨承認してもらいたい。
- Q ボランティア精神の点について、対価を支払うとの意見については、事務局・広報部員も同様であり、今後事務局で検討してほしい。
- Q 各クラブの人員の不均衡を是正する方法は?
中級者クラスのスクールをやめた理由?
ジュニアは昨年と比べ大分減っており、2面ではなく1面でも良いのでは?
- Q 忘年会費用は、残金が出た場合協議会の会計に戻すこと。
- Q 会員が出来るだけテニスがいよいよとの立場か

ら幾つかの意見も含め、今後運営委員会の中で検討してほしい。

- A 民間コートを春・秋の大会時期に可能な限り確保します。又、各クラブへの費用の中でも独自の活動を広げていただけるよう配慮しています。
- A 各クラブの会員数の均等化については、運営委員会において検討し、決めていく予定です。
- A 中級者クラスのスクールをやめた理由は、このクラスの方は、概ね乱打・通常の練習試合など独自に出来るし、又、やっているのがジュニアは、22名から16名と事実減っていますが、他の練習機会もないので、2面・1時間半でスタートしました。子供たちが行事等で極端に少ない場合は、その都度判断していきます。

忘年会費用で残金が出た場合については、討論のうえ採決となり、主催クラブで使っていたことに決定しました。

※残金が出た場合であっても、参加者から会費を貰って開催していること(総費用-(会費+交付金)=残金)や多少の残金が出たとしても、その主催クラブのご苦勞ん会などにあてても良いのでは。『一括請負方式』※

平成3年度役員選出

東村山市市民テニスクラブ協議会

平成3年度役員

名誉会長	太田芳郎
相談役	筑紫孝
会副会	長・柳松利夫 (恩多クラブ) 長・松井貞二 (恩多クラブ)
財政部長	河嶋和興 (恩多クラブ)
財政副部長	里見洋子 (美住クラブ)
技術部長	武谷直也 (恩多クラブ)
技術副部長	藤岡信照 (青葉クラブ)
技術副部長	浅見耕司 (恩多クラブ)
広報部長	黒岩俊雄 (美住クラブ)
広報副部長	藤田昭高 (本町クラブ)
事務局局長	谷古宇勝美 (美住クラブ)
事務局員	林利法 (青葉クラブ)
事務局員	田中通隆 (美住クラブ)
事務局員	山口悦子 (恩多クラブ)
事務局員	光井きさ子 (本町クラブ)
会計監事	中根一夫 (恩多クラブ)
会計監事	岡田房子 (恩多クラブ)

今年一年よろしくお願い致します。

例年を上回るような、多数の質疑がなされたのでとてもこの紙上では足りません。

幾つか紹介しましたが、昨年の活動報告並びに今年度の活動方針とも、多くの補強意見を戴きまして承認されました。

会員の皆様方、一人ひとりの気持ちがかようなことの出るクラブとするため、より多くテニスコートで逢うことが出来るよう予算面でも配慮がされました。今後、運営委員会においてこれらの貴重な意見を尊重しつつ、1年間『東村山市市民テニスクラブ協議会』の活動を進めていくことになりました。

おひか